



資料	
No.	4-1

川西祐三郎
「白い航跡」

新設 特別セッション（製造業安全対策官民協議会の成果報告など）

第76回

全国産業安全衛生大会

開催期間 平成29年 11月8日(水) → 11月10日(金)

会場 総合集会 11月8日 分科会 11月9日、10日
ワールド記念ホール（兵庫県神戸市） 神戸国際展示場、神戸国際会議場ほか

参加費：12,900円（税込）

特別講演

総合集会 11月8日

(ワールド記念ホール)

“網膜再生医療の開発”

～研究開発におけるリーダーシップ～

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト

プロジェクトリーダー 高橋政代氏



講演

ゼロ災運動分科会 11月9日

(神戸国際会議場メインホール)

“目標達成のための
セルフマネジメント”北京五輪メダリスト
大阪ガス㈱

近畿園部マネジャー 朝原宣治氏



講演

化学物質管理分科会 11月10日

(神戸国際会議場メインホール)

“知ること”

～センデビティと待ち構えた知性～

筑波大学名誉教授
ノーベル化学賞受賞（2000年） 白川英樹氏

撮影：菅野和彦

主催：中央労働災害防止協会
 協力：一般社団法人 兵庫労働基準連合会
 協賛：建設業労働災害防止協会 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 港湾貨物運送事業労働災害防止協会
 林業・木材製造業労働災害防止協会 各都道府県労働基準協会（連合会）
 後援：厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁、ILO 駐日事務所、兵庫県、神戸市
 一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、公益社団法人関西経済連合会
 兵庫県経営者協会、兵庫県商工会議所連合会、神戸商工会議所、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会
 一般社団法人兵庫県医師会、兵庫県社会保険労務士会、兵庫産業保健総合支援センター、日本労働組合総連合会兵庫県連合会
 公益社団法人日本保安用品協会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会

JISHA 中災防

問合せ先

中央労働災害防止協会 教育推進部 イベント事業課
TEL：03-3452-6402 http://www.jisha.or.jp/



どころ



どころ



「製造業安全対策官民協議会」の成果報告等を行う特別セッションのほか、労働災害防止に関連するテーマ別の12分科会、ポスターセッション等250題を超える講演、報告、シンポジウム・パネルディスカッション等の中から見どころ・聴きどころをご紹介します。

特別プログラム 製造業安全対策官民協議会 特別セッション

会場:神戸ポートピアホテル ポートピアホール

開催日:9日 9:30~12:30

厚生労働省、経済産業省、中央労働災害防止協会は、業種横断的に製造業における安全対策の検討や普及活動を行う初の官民連携協議会として、製造業の主要な業界の経営層とともに「製造業安全対策官民協議会」を設立しました。

この協議会では、製造業における安全対策のさらなる強化を図るため、官民が連携し、経営層参画の下、業種の垣根を越え、現下の安全に関わる事業環境の変化に対する認識を分析・共有しながら、既存の取り組みの改善策や新たに必要となる取り組みを検討し、企業における現場への普及を推進することを目的としています。

この官民協議会による「特別セッション」を下記のとおり開催いたします。

プログラム	
9:30~9:35	開会挨拶 製造業安全対策官民協議会会長
9:35 ↓ 10:05	基調講演 「これからの産業安全—経営層の役割—(仮題)」(30分) 東京大学 名誉教授 田村昌三
10:05 ↓ 10:25	企業事例1(20分) トヨタ自動車(株) 安全健康推進部長 小澤謙二
10:25 ↓ 10:45	企業事例2(20分) 宇部興産(株)
10:45~10:55	休憩
10:55 ↓ 12:30	パネルディスカッション(95分) 「製造業における安全対策のさらなる強化と経営層の役割 ~トップダウンとボトムアップの融合による現場力向上~」(仮題)

開会挨拶

寺畑 雅史

製造業安全対策官民協議会 会長
JFEスチール株式会社 専務執行役員



基調講演・パネルディスカッション司会進行

田村 昌三

東京大学 名誉教授



パネルディスカッション・パネラー

向殿 政男

明治大学名誉教授・校友会会長



助言者

厚生労働省
経済産業省
中央労働災害防止協会 理事長 八牧暢行

リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会

パネルディスカッション

9日15:00~

ISO(JIS) 45001および 新たなJISによる展開

パネリスト

明治大学 名誉教授・校友会会長

(株)テクノファ取締役会長

住友化学(株)レスポンスブルケア部

環境・安全 担当部長

横浜ゴム(株)CSR本部

安全衛生推進室 室長補佐

向殿 政男

平林 良人

伊藤 孝徳

西 正幸

助言者

経済産業省 産業技術環境局

基準認証ユニット 国際標準課長

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部

安全課 主任中央産業安全専門官

藤代 尚武

高橋 洋

司会

中央労働災害防止協会 技術支援部長

南保 昌孝

メンタルヘルス/健康づくり分科会

パネルディスカッション

10日13:00~

安全衛生に生きる健康経営 ~安全衛生スタッフは健康経営とどう向き合うか~

パネリスト

ジャパンケーブルキャスト(株) 取締役企画管理本部長

佐藤 隆一

藤沢タクシー(株) 代表取締役社長

根岸 茂登美

司会

NPO法人 健康経営研究会 東京事務局

((株)ルネサンス 健康経営推進部 次長)

樋口 毅

※「健康経営」は、NPO法人 健康経営研究会の登録商標です。

ポスターセッション (神戸国際展示場 1号館 1階ロビー)

ポスター掲示による安全衛生事例の紹介

(9日午後15時以降発表者による説明・質疑応答の時間を設けます)



申込要領

日程

平成29年 11月8日(水)～10日(金)

場所

ワールド記念ホール、神戸国際展示場(兵庫県神戸市) ほか
(ポートアイランド内 ポートライナー市民広場駅より徒歩)

参加費

[一般] 1名 12,900円(消費税込)

[中災防賛助会員]* 1名 6,400円(消費税込)

*会員口数1口につき1名分適用

申込方法

下記申込先へFAX・郵送・ご持参にてお申込みください。
受付後に参加券と請求書等を送付いたします。
開催日当日、大会会場内受付にて参加券と引き換えに大会資料をお渡ししております。

申込先

申込先は地域によって異なります。

兵庫県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、静岡県、岡山県、広島県、沖縄県の方

➡ 最寄の労働基準(労務安全衛生)協会(連合会)へ
詳細連絡先はHPをご覧ください。
<https://www.jisha.or.jp/taikai/2017/essentials.html>

上記以外の地域の方

➡ 中央労働災害防止協会 教育推進部 イベント事業課
〒108-0014 東京都港区芝5-35-2
(TEL 03-3452-6402 FAX 03-5443-1019)
申込書の送付に加え、全国産業安全衛生大会公式ウェブサイトからもお申込みいただけます。
<http://www.jisha.or.jp/taikai/>

支払方法

参加費はお申込み先までお支払いください。
支払方法は次の3通りです。

① 銀行振込

お申込み先で申込書を受領しましたら、折り返し参加券と請求書をお送りします。11月7日(火)までに請求書に記載されている指定口座へご送金ください。振込の際、ご送金名義は企業名のほか事業場名までご記入願います。

*振込手数料はご負担願います。

*領収書は金融機関の受領書をもって代えさせていただきます(別途領収書をご希望の場合はお申出ください)。

② 現金書留

参加申込書を同封の上、参加費をお送りください。折り返し参加券と領収書をお送りします。

③ 現金持参

参加申込書とともに現金をご持参ください。

申込締切日

平成29年10月31日(火)(必着)

取消料

お申込み後の参加取消しをされる場合、下記の取消料を頂戴いたします。できるだけ代理の方のご参加をお願いします。なお、返金振込手数料はご負担願います。

取消しのお申出期間	取消料
10月31日(火)まで	なし
11月1日(水)～11月7日(火)	参加費の30% ご負担願います。
11月8日(水)以降	参加費の100% ご負担願います。

*参加取消し方法は、大会参加券に「参加取消し」と朱記し、参加費の返金先(銀行名・支店名・口座番号・口座名義)を添えて申込み先まで返送(返送費用は申込者負担)願います。

当日申込受付

事前にお申込みが間に合わない場合は、「当日受付」を設けております。参加費は現金支払いをお願いしておりますが、請求書払いによる受付も可能です。
なお、当日受付は混雑する場合がございますので事前のお申込みをお勧めいたします。

■ 当日受付

8日(水)	神戸国際展示場 2号館 1階
9日(木)～10日(金)	神戸国際展示場 2号館 1階 各分科会場の受付

その他

○宿泊等のご案内、全国交流会のお申込みについて等詳細は、全国大会HPでご案内しております。

○案内書(冊子)で会場へのアクセス、プログラム等詳細をご案内しております。ご入用の方は、「全国大会案内書希望」とご記入の上、下記問合せ先までFAXまたはE-mailでご連絡ください。

○詳細については全国産業安全衛生大会サイトをご覧ください。

<https://www.jisha.or.jp/taikai/>

中災防全国大会

検索

〈問合せ先〉

中央労働災害防止協会
教育推進部イベント事業課

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2

TEL 03-3452-6402

FAX 03-5443-1019

E-mail: taikai@jisha.or.jp

第76回 全国産業安全衛生大会 参加申込書

平成 29 年 月 日

会 社 名	フリガナ		
所 在 地	〒		
申込担当者	フリガナ	所属部署	
T E L		E-mail	

申込者数を 欄にご記入ください。

※太枠内は記入しないでください。

 名 × ￥12,900 円 = ￥受付番号 ※ 受付日 ※

【通信欄】（領収書のご要望、宛名等について記入してください。）

ご記入いただいた個人情報につきましては、当協会が責任を持って管理し、全国産業安全衛生大会の的確な実施のために使用するほか、当協会が実施する各種セミナー・講演会の情報提供に使用することがあります。これらの情報提供に使用することに同意していただけない場合は、□にチェックマークをご記入ください。

☐ 同意しない

上記以外に送付する場合

所 在 地	〒	-
会 社 名		
部 署 名		
担当者名	様	

アンケート

全国産業安全衛生大会にご参加いただく方を対象に、今後の大会をより良いものとするためのご参考とさせていただきます。以下のアンケートのご記入にご協力ください。なお、複数名の参加申込の場合でも、回答はお一人様で結構です。

Q1 貴事業場の業種をお答えください（記述式）

()

Q2 貴事業場の従業員数をお答えください（○で囲んでください）。

A. 10 人未満 B. 10 ～ 29 人 C. 30 ～ 49 人 D. 50 ～ 99 人 E. 100 ～ 299 人
F. 300 ～ 499 人 G. 500 ～ 999 人 H. 1,000 人以上

Q3 貴社の全社の従業員数をお答えください（○で囲んでください）。

A. 10 人未満 B. 10 ～ 29 人 C. 30 ～ 49 人 D. 50 ～ 99 人 E. 100 ～ 299 人
F. 300 ～ 499 人 G. 500 ～ 999 人 H. 1,000 人以上

Q4 参加を予定する分科会等をお答えください（○で囲んでください。複数回答可）。

1. リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会 2. 安全管理活動分科会 3. 第三次産業分科会
4. 機械・設備等の安全分科会 5. 中小事業場分科会 6. 安全衛生教育分科会 7. 労働衛生管理活動分科会
8. 化学物質管理分科会 9. ゼロ炭運動分科会 10. 交通安全分科会 11. メンタルヘルス／健康づくり分科会
12. 防災・危機管理分科会 13. 製造業安全対策官民協議会特別セッション 14. 総合集会

Q5 大会3日間の行動予定についてお聞かせください（○で囲んでください）。

1. 1日目総合集会のみ参加 2. 1日目および2日目参加 3. 1日目から3日目すべて参加
4. 2日目および3日目参加 5. 2日目のみ参加 6. 3日目のみ参加

Q6 この大会への参加は何回目ですか（○で囲んでください）。

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目以上

Q7 この大会の開催期間について（○で囲んでください）。

1. 3日が適当 2. 2日がよい 3. 4日がよい 4. 1日がよい

Q8 この大会について何でお知りになりましたか（○で囲んでください。複数回答可）。

1. 中災防からのDM 2. 中災防の雑誌 3. 中災防のホームページ
4. 労働基準協会等からの案内 5. 労働局、監督署からの案内 6. その他

Q9 この大会に参加される目的をご記入ください。（記述式）

()

Q10 聴いてみたい講演、パネルディスカッション等の内容または講師があればご記入ください。（記述式）

()

JISHA方式適格OSHMS認定事業場に見られる安全衛生レベル向上について ～こうすれば、さらに良くなる安全衛生～

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
教授 高野 研一

国立大学法人東京工業大学イノベーション科学系
技術経営専門職学位課程 特任教授
中村 昌允

化学物質のリスクアセスメントにおける リスク評価手法の選択のポイント

国立大学法人東京工業大学大学マネジメントセンター 特任教授
(日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 個人ばく露測定に関する委員会委員長)
橋本 晴男

中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター
(日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 個人ばく露測定に関する委員会副委員長)
山田 憲一

安全活動の目の付けどころ

安全と人づくりサポート
代表 古澤 登

『元気な職場をつくる実践的安全活動（中災防発行）』の著者である古澤登氏（元トヨタ自動車㈱安全衛生推進部 担当部長）が、今一度、現在の安全活動を“重篤災害に的を絞った活動”という視点から見直しすることを提言。“ハードとソフトのバランス”“組織的取り組みの必要性”などのポイントを解説。

“しくみ”を用いた 安全確認型システム

TI安全リスクアドバイザー
代表 石原 立憲

機械設備は安全確認型システムにしなければ人の確定的な安全確保はできない。このシステムを電気的制御を用いずにフルプルーフな仕組みで構築する“しくみ”を用いた安全確認型システムを考案した。本法は簡単・安価で新設のみならず既存設備の安全化に有効である。

安全文化を高め、 一人ひとりが安全に行動する 職場をつくる

西坂労働安全コンサルタント事務所 代表
元JFEメカニカル㈱ 安全衛生部長、教育推進部長
西坂明比古

ぶれることのない価値観に基づいた「安全文化創生活動」を通じて確立した安全文化基盤づくりと、“人が見ていない時でも安全に行動する人と職場づくり”について、その基本的な考え方を具体的な取り組み事例を交えて紹介する。

「ノーマライゼーション」の 理念に基づいた、安全で イキイキと働ける職場づくり

サンアクアTOTO(株)
総務課 主査
古賀 光司

TOTOグループの重度障がい者多数雇用企業として、安全への取り組みや、障がい者が健常者と同じように業務を行うための改善を推進している。障がいのある人もない人も一般社会で平等に生活できる～ノーマライゼーション～の実現に向けた職場づくりを目指した活動を報告する。

第三次産業における5Sの 実践による労働災害の防止 ～ホスピタリティ・マインド (おもてなし)をここに刻んで～

青森中央学院大学大学院 客員教授
(有)グローバル・マネジメント社 代表取締役
小澤 信夫

第三次産業・流通産業界におけるマネジメントに関して豊富な経験を持ち、CS(カスタマー・サティスファクション＝顧客満足)、ホスピタリティ論の専門家である講師が、労働災害の防止にもつながる5S(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)の実践について語る。

「現場所長の作業についての思い」 を日々伝えること～姫路城 修理工事を無事故無災害で～

姫路城大天守保存修理JV工事事務局
鹿島建設(株)所長
河原 茂生

国宝姫路城の立地条件下には、数多くの作業制約がある。消防法により火気使用禁止。史跡のため地盤をいじれない、1つたりとも落下物・飛散物は許されない。すべてが難工事特に「素屋根解体」は白亜の城となった姫路城を損傷させてはならない使命感での作業であるが、見事に安全に完成できた。

今後想定される首都直下地震、 南海トラフ巨大地震などから 災害大国・日本が生き残るために

関西大学 社会安全研究センター長
特別任命教授 河田 恵昭

首都直下地震や南海トラフ巨大地震、東京水没が起こると、あまりの被害の大きさのために、それがきっかけとなって我が国は衰亡の危機となり得る。これらの国難災害を乗り越えるために必要な事項について考察する。

腰痛予防対策セッション

特別報告1

保健衛生業における 腰痛予防対策～現状と課題～

滋賀医科大学 社会医学講座・衛生学部門 講師
北原 照代

特別報告2

日本におけるノーリフトケアの 取り組みと今後

(一社)日本ノーリフト協会 代表理事
保田 淳子

本セッションでは社会福祉施設、小売業等を対象とした「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の一環として、社会保健施設における腰痛予防対策として現在取り組まれている「ノーリフトケア」についての概要、その効果、現場での取り組み状況について解説・報告を行う。

総合集会

●ワールド記念ホール

11月8日(水) 13:15 ~ 17:00

安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、理化学研究所多細胞システム形成研究センターで網膜再生医療の研究に取り組まれている高橋政代氏による特別講演を行います。

特別プログラム

●神戸ポートピアホテル
ポートピアホール

11月9日(木) 9:30 ~ 12:30

官民連携のもと、業種の垣根を越えた安全対策の検討や普及活動を行う製造業安全対策官民協議会の特別セッション

分科会

11月9日(木)・10日(金) 各会場とも9:30開場

労働災害防止に関連するテーマごとに分科会を設けています。全国の事業場からの改善事例や研究発表をはじめ、安全衛生の専門家や幅広いジャンルの講師による講演、シンポジウム等多彩なプログラムをご用意しています。

リスクアセスメント／マネジメントシステム

現在作成が進むISO(JIS)45001に関する討論、労働安全衛生マネジメントシステムの導入による安全衛生活動の改善事例、企業におけるリスクアセスメント事例等

安全管理活動（第1～第3会場）

職場の安全管理活動の事例、最終年度を迎えた第12次労働災害防止計画の行政の取り組み状況を解説する報告等

機械・設備等の安全

機械・設備に関するリスクアセスメント事例等

安全衛生教育

企業内における安全衛生教育の取り組み事例等

ゼロ災運動

北京五輪メダリスト朝原宣治氏による講演、ゼロ災害全員参加運動による安全衛生活動事例等

交通安全

職場の交通安全対策事例等

防災・危機管理

企業における防災・震災対策、危機管理事例等

労働衛生管理活動

職場の作業環境管理、作業管理および健康管理に関する事例等

化学物質管理

白川英樹氏(2000年ノーベル化学賞受賞)による講演、化学物質に関する活動事例等

メンタルヘルス／健康づくり

職場のメンタルヘルス対策に関する事例、健康づくり活動に関する事例等

中小事業場

中小事業場の安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等

腰痛予防対策／第三次産業

社会福祉施設、小売業等を対象とした「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の一環の腰痛予防対策や第三次産業における安全衛生活動・健康づくり活動に関する事例等

分科会名	日程		会場名
	11/9	11/10	
リスクアセスメント／マネジメントシステム	⚓	⚓	神戸国際展示場
特別セッション／安全管理活動(第1会場)	⚓	⚓	ポートピアホール
安全管理活動(第2会場)	⚓	⚓	神戸国際展示場
安全管理活動(第3会場)	⚓	⚓	神戸国際展示場
機械・設備等の安全		⚓	神戸国際会議場
安全衛生教育	⚓	⚓	神戸国際展示場
ゼロ災運動	⚓		神戸国際会議場
交通安全	⚓		神戸商工会議所
防災・危機管理	⚓		神戸商工会議所
労働衛生管理活動	⚓		神戸国際会議場
化学物質管理		⚓	神戸国際会議場
メンタルヘルス／健康づくり	⚓	⚓	神戸国際展示場
中小事業場		⚓	神戸国際展示場
腰痛予防対策／第三次産業	⚓		神戸国際展示場

働く人の安心づくりフェア in 神戸

緑十字展
2017 入場無料

日時 平成29年 11月8日(水) 10日(金)

◆8日(9:30~17:30) ◆9日(9:00~17:00) ◆10日(9:00~15:00)

会場 神戸国際展示場 1号館・3号館

特別企画

緑十字展50回記念展

安全衛生保護具体験道場

グルメ・物産コーナー／
抽選コーナーほか

お問合せ先

中央労働災害防止協会 教育推進部 イベント事業課
TEL:03-3452-6402(直通) FAX:03-5443-1019

大会HP <http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

中災防 全国大会

検索